

# 平成16年度予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会 委員長 田村 計久

3月12日より19日までの5日間、予算審査特別委員会を設置し、各会計の審議を行いました。

①平成16年度一般会計予算

②平成16年度特別会計予算

(4特別会計)

③平成16年度企業会計予算

(4企業会計)

各会計の審議を行ない、執行部に対して鋭い質問が飛び交い白熱した審議が展開されました。

町の財政が厳しい状況にある中、町の平成16年度予算編成に対してその認識が甘いとの質問に執行部も終始明確な回答が出せずにおりました。

合併をせずに、自立した町作りを進めるとの宣言から約2年になろうとしています。いつまでも不況のせいにすることなく将来の湯沢町の姿を町民に示し、一步一步、力強く踏み出さなければならず、これまでの進め方を町執行部も改め、行、財政改革を進めるべきと考えます。

今審議会で財政上大きな問題となったものは、

○ロープウェー事業所の赤字補填

○土樽船沢橋の建設

○観光立町宣言の委託料

○日本画の購入

○税の滞納、使用料の未払い等、他にも多くありますが、町の基本的な姿勢が追及されました。

特にロープウェー事業所の運営については町長の民間委託か売却を考えるとの発言には疑問を感じるどころですが、最大限の運営努力をし、観光の中心となるロープウェー事業所の健全経営を図るべきであります。

こうしたなか、三俣地域の振興策の取り組みや中学生のアメリカホームステイ計画など、明るい話題もあります。

少子高齢化、人口減少と今後を考えると、今議会における予算審査は多くの問題を提起したと思います。

平成16年度予算審査特別委員会に付託された議案についてはいずれも認定することと決しました。

執行部は9月か10月頃に行う行政改革の大綱を提示することですが、町民の福祉や子育て支援など住民サービスの確保をし、地域の産業の活性化を図るなど課題は多いが、町長はじめ執行部の施策に期待し、委員長報告といたします。

